

課題の概要

○地域再生人材養成ユニット名 「医師・コメディカル統合的人材育成拠点の形成」

○総括責任者名 「福田秀樹」

○提案機関名 「神戸大学」

地域の現状と地域再生に向けた取組状況

現在、コメディカル(医療専門職)のスキルミクスが地域医療崩壊を防ぐ解決策として議論されている。さらに機能的なスキルミクスに支えられたチーム医療は災害医療においても重要な役割を果たす。神戸大学と兵庫県では地域医療向上のため医師の相互交流を既に行っているが、コメディカルに対しても機能的スキルミクスを可能とする高度専門教育を包括的に実施する「医師・コメディカル統合的人材育成拠点」を形成し、地域医療の再生ならびに災害医療の充実を図る。

地域再生人材創出構想

神戸大学大学院医学研究科を中心として兵庫県等の協力のもと、地域医療に従事するコメディカルが容易に高度専門教育を受けることができる地域再生人材育成拠点の形成を計画する。地域医療および災害医療の現場で機能的スキルミクスを実現できるエキスパート・コメディカルを育成する。本育成プログラムの修了者は、各地域医療機関において地域・災害医療のリーダーとしての役割を果たすことが期待され、県内全体をフィールドとした循環型の配置・育成システムを構築することができる。

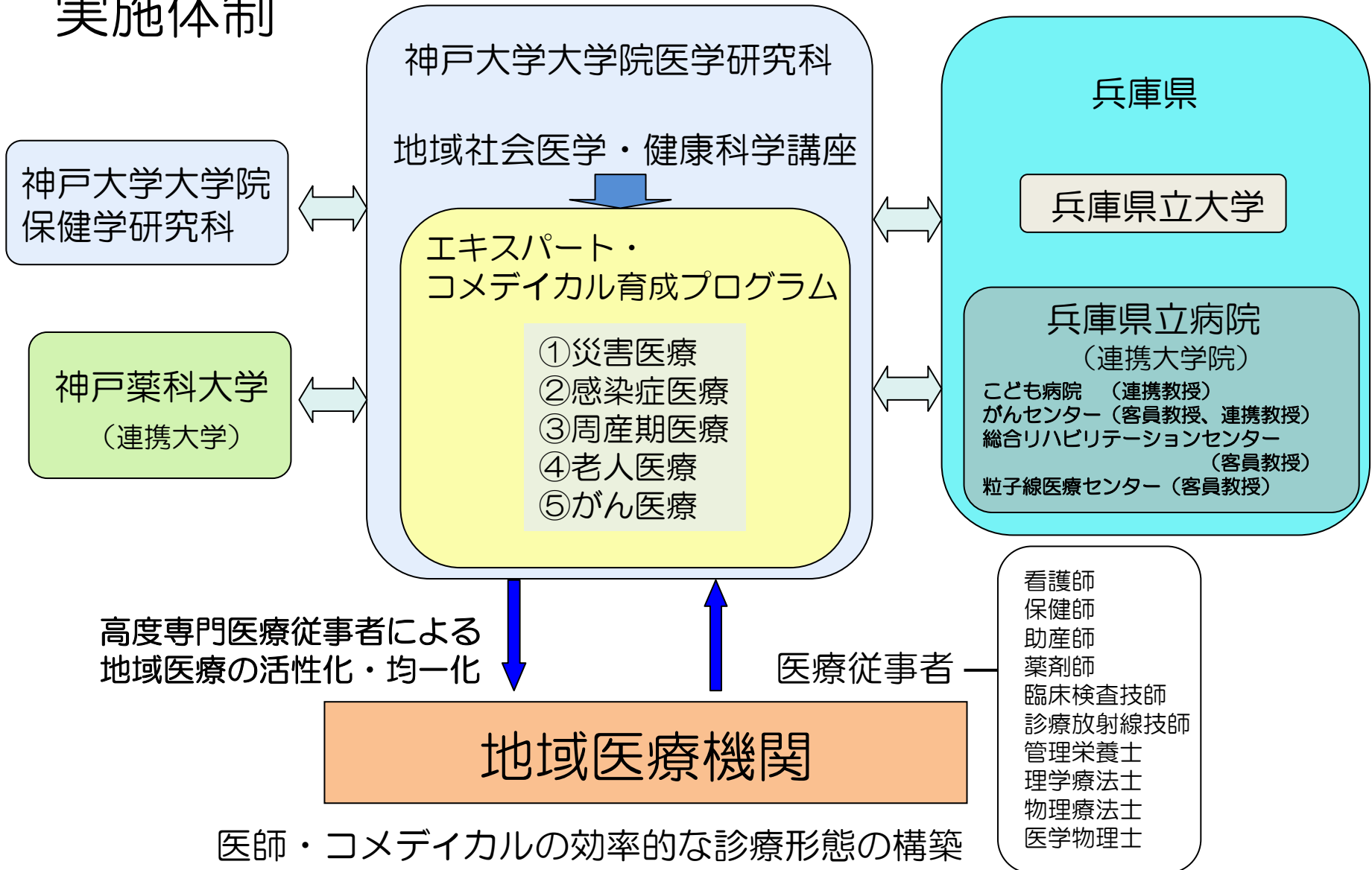
自治体との連携・地域再生の観点

現在、神戸大学と兵庫県の間では地域医療再生および災害医療充実のため様々な連携事業を行っている。今回の医師・コメディカル統合的人材育成拠点の形成のプログラムにより、コメディカルが専門性を発揮する機会が増え、機能的なスキルミクスが可能となる。兵庫医療圏における機能的チーム医療の確立は、地域医療再生ならびに今後発生が危惧される南海大地震などに対する災害医療の充実に貢献する。

ミッションステートメントの概要

地域再生計画の一環として地域医療に従事するコメディカルに高度専門教育を実施しエキスパート・コメディカルを育成し、地域医療の再生、災害医療の充実、地域社会の活性化に繋げる。①災害医療②がん医療③感染症医療④周産期医療⑤老人医療、の5つの専門コースを設け、5年後の実施期間終了時まで各コース16名、全期間合計80名のエキスパート・コメディカルを育成する。各育成コースは実施期間終了後も神戸大学大学院医学研究科に存続させる。

実施体制



実施内容

エキスパート・コメディカル育成プログラム

地域医療機関

医師・コメディカル 統合的人材育成拠点

地域医療機関

神戸大学医学研究科
地域社会医学・健康科学講座
総合臨床育成学分野
地域医療ネットワーク学分野
医療協働推進学分野
医療システム学分野

兵庫県内の
地域医療機関
に従事する
コメディカル

但馬
丹波
播磨
阪神
淡路

1ヶ月～3ヶ月の
インテンシブコース

- ①災害医療
- ②感染症医療
- ③周産期医療
- ④老人医療
- ⑤がん医療

- ・2名ずつの少人数制
- ・年間：1コース
4名X5コース
計20名
- ・4年間で80名育成

①地域医療、
災害医療の
リーダーとし
て地域の医療
に貢献

②県の地域再
生計画に基づ
き県立病院を
中心にリー
ダーを配置

③県下の病院
でのIPW教育
の推進

5年後：

初回研修の確認と
研修した技術をい
かに地域医療再生
に役立てたかの検
証を行う

継続的展開

ミッションステートメント

- 地域再生人材養成ユニット名 「医師・コメディカル統合的人材育成拠点の形成」
- 総括責任者名 「福田秀樹」
- 提案機関名 「神戸大学」

(1) 地域再生人材創出構想の概要

兵庫県内の地域医療再生において、医師とコメディカルの円滑なスキルミクスは地域医療の質、安全性向上の一つの解決策である。また機能的なスキルミクスに支えられたチーム医療は災害医療においても重要な役割を果たす。兵庫県が策定する地域医療再生ならびに災害医療の充実を柱とした地域再生計画の一環として地域医療ならびに災害医療に従事するコメディカルに高度専門教育、研修を実施しエキスパート・コメディカルを育成する。県内全域をフィールドとした地域医療人材の総合的育成及び循環システムの構築を通じて、県民の安全・安心を守る地域医療の再生ならびに今後発生が危惧されている南海大地震などに対する災害医療の充実を実現する。

(2) 3年目における具体的な目標

①災害医療②感染症医療③周産期医療④老人医療⑤がん医療、の5つの専門コースを設け、最初の1年をカリキュラム作成および人材育成従事者の整備にあたる。続く2年間で各コース8名、計40名のエキスパート・コメディカルを育成し、兵庫県内の地域医療の活性化ならびに災害医療の充実に貢献する人材として、「兵庫県保健医療計画」の推進に積極的に活用する。

(3) 実施期間終了時における具体的な目標

3年目以降、各コース8名、計40名の人材を育成し、期間合計で計80名のエキスパート・コメディカルを育成する。コース修了者は各医療機関における、地域医療再生ならびに災害医療充実の取り組みに対して主導的な役割を発揮し、兵庫県の地域再生計画の中心的な役割を果たす。

(4) 実施期間終了後の取組

既に実施している神戸大学と兵庫県の地域医療向上のための医師相互連携協力協定とともに、本育成プログラムを通じて医師以外のコメディカルについても相互交流を拡大し、各研修コースは5年間の実施期間終了後も存続させ、本育成プログラムと並行して医学研究科の域社会医学・健康科学講座と兵庫県が協力して、本人材育成プログラムの運営を継続する。

(5) 期待される波及効果

兵庫県内の地域医療格差を是正させることにより、兵庫県全体の医療水準を大幅に向上させることが可能である。さらには本事業により同時に達成される災害医療エキスパート・コメディカルの育成により今後、発生の危惧される南海大地震などの大災害の備えにもなる。本プログラムによる地域医療再生ならびに災害医療の充実を通じて地域社会の活性化、社会資源の充実に寄与することができる。